

平成12年度少年水産教室(ノコギリガザミの放流)

宮古支庁農林水産振興課 南 洋 一

1. 目的

宮古地域で行われている栽培漁業を、義務教育課程にある児童が学習し、また、ノコギリガザミの放流の体験を通して新しい時代の「つくり、育てて、とる漁業」(栽培漁業)を学び、海の資源の大切さを知らせ、漁業後継者の育成に役立てる。

2. 教室名

ノコギリガザミの放流

3. 実施対象

佐良浜小学校 5年生43名

4. 開催日程

平成12年9月4日(月)

14:00 ノコギリガザミの説明

15:10 放流開始

16:00 解散

5. 実施場所

講義: 佐良浜小学校

体験学習: 伊良部町入江水道域

6. 講師

宮古支庁農林水産振興課主任 南 洋一

7. 関係協力機関

- ・伊良部町水産振興課
- ・日本栽培漁業協会八重山事業場

体験学習の理解度や、これからの取り組みについてどのようなことを考えているかなどを把握します。

8. 実施内容

①講師によるノコギリガザミの説明

(30分程度)

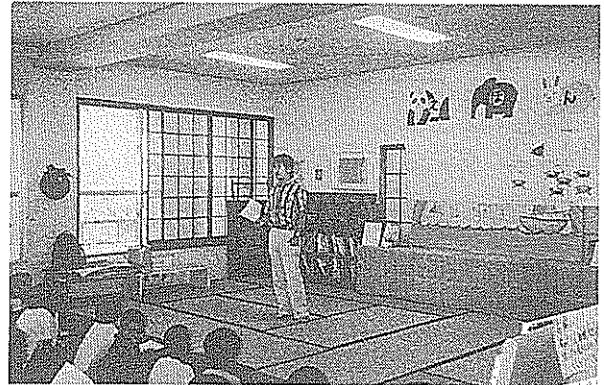
内容: 栽培漁業の仕組み

ノコギリガザミの生態

宮古で放流されている水産動物

②ノコギリガザミの放流、体験学習

伊良部町入江水道域の浅瀬においてノコギリガザミの稚ガコを数百匹放流した。

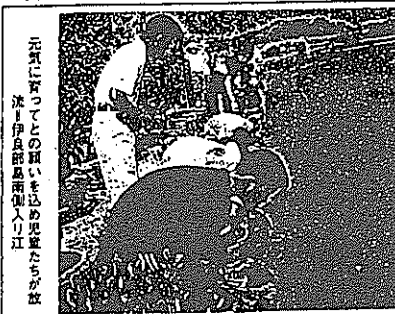




9/5 (火) 宮古毎日新聞掲載

宮古

(11) 1955年9月21日第3種郵便物認可



元氣に育つてとの願いを込め児童たちが故
郷・伊良部島南側入り江

大きく育って

資源の大切さ学ぶ

佐良浜小の児童、稚ガ二放流

佐渡県小学校（初柏五
表校長）五年生四十三人
は四百年後、島の南側の
入り江でノコギリガサミ
の稚ガ二枚魚卵を放流し
た。

幾後継者の育成に役立
ててもらおうと、県立宮
戸農林水産試験場が「少
年水産放流」として実施
した。

この日放流した稚ガ二

廃場から取り寄せた。
放流する前には、同僚
の南洋一さんが講師とな
り、脱皮を繰り返し形を

君たちが大人になっても
資源が豊かな海になる
よ」と呼び掛けた。

らんと聞かすべしな
な。きよう放流した方
を殺生したとあつた
監つてゐる。